

2010年2月22日  
報道関係各位

EL10-07

## 「第6回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」 精神保健福祉に貢献されている方々の活動を表彰 ～ 受賞者・団体は 佐野 卓志 さん、心の病と共に生きる仲間達連合会キララ ～

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ/千葉県市川市)は、2月20日(土)東京都内にて「第6回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」の表彰式を開催いたしました。表彰式では、受賞した1名・1団体の皆さんへ表彰状と副賞(100万円)を授与し、受賞の喜びの言葉に続き、活動の様子が紹介されました。また、当日は「精神障害者」の呼称と表記を考えるシンポジウムも併せて開催いたしました。

リリー賞は、「精神障害へのアンチスティグマ研究会(代表世話人:佐藤光源、東北福祉大学大学院教授)」が日本イーライリリー株式会社の協賛を得て2004年から行ってきたもので、このたび、同研究会の要請を受けコンボが引き継いで実施することになりました。リリー賞を通じて、精神保健福祉に貢献されている方々の活動を社会に広く紹介し、精神障害(特に統合失調症)への理解を深める一助となることを目的としています。

<第6回リリー賞受賞者・団体> ※各受賞者の活動内容詳細とコメントは、次ページをご覧ください。

◇佐野 卓志 さん (愛媛県松山市)

◇心の病と共に生きる仲間達連合会キララ (岩手県一関市)



本プレスリリースは以下の記者クラブに同時配布しております。(2010年2月22日(月)午前11時)

■神戸経済記者クラブ、厚生労働記者会、日比谷クラブ、重工業研究会、岩手県政記者クラブ、一関市政記者クラブ、愛媛番町記者クラブ、松山市政記者クラブ

## 第 6 回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 受賞者

今回、過去最多となる 84 組の応募の中から、厳正なる審査の結果、個人では佐野卓志さん、団体では「心の病と共に生きる仲間達連合会キララ」の受賞が決定いたしました。

審査は、(1) 当事者主体の取り組みであるかどうか、(2) 活動の独自性、(3) 社会や医療、保健、福祉へのインパクトを基準に選考が行われました。

### ■ 佐野 卓志 さん (愛媛県松山市)

大学在学時に統合失調症を発症。治療を続けるとともに、1989 年に仲間と「障害者自立の店ムゲン」をオープン。2004 年には精神保健福祉士 (PSW) に合格、2005 年に「統合失調症とわたしとクスリ」、「こころの病を生きる—統合失調症患者と精神科医師の往復書簡」を出版。

現在、NPO 法人「ぴあ」理事長。精神障害者メンバー約 30 名、指導員 2 名で「ルーテル作業センター ムゲン」を運営。

佐野 卓志 さんは次のように述べています。

「受賞本当にうれしく、いままで協力してくれた仲間みんなや、とくに支えてくれた奥さんのおかげだと深く感謝の気持ちです。この 4 月からムゲンは地域活動支援センターから就労継続支援 B 型に移行しますが、職員も増え、ぼく達が引退しても、弟や職員が後を継いで、さらに発展させてもらえるものと思います。でもまだ最低 5 年くらいはぼくもムゲンに居続けようと思っていますけれど。」



### ■ 心の病と共に生きる仲間達連合会キララ (岩手県一関市)

2004 年設立。地域で唯一のシンポジウム「明るく生きる精神保健シンポジウム」を毎年企画実施するほか、心の病気についての理解を深め、苦手なことに対応する力を身につける講座「きらりん講座(患者向け講座)」を主催するなど、精神障害への理解促進に向けた活動を展開。

2006 年に精神障害者を中心メンバーとした演劇集団「キラりん一座」を旗揚げ、脚本作りからキャスト、スタッフなどすべての活動を当事者とボランティアが行っている。2009 年は 3 作品を作り上げ、4 回公演。

心の病と共に生きる仲間達連合会キララの皆さんは次のように述べています。

「障がいを抱えてしまった私達は、一緒に取り組める仲間を得て、自分を表現できるようになりました。賞を頂戴し、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。私達が輝くことで地域に精神障がいへの理解を広めると共に元気を伝えたい！と楽しみながら活動してきました。これからもどんどん楽しい活動を生み出し、“心の病と共に生きる”活動を広げ、地域の皆さんと共に頑張りたいと思います。」



---

## 第 6 回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) お問い合わせ先

---

### ■ 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)について

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ/千葉県市川市)は、2007年2月に創設したNPO法人です。主な事業として、月刊メンタルヘルスマガジン「こころの元気+」(1万部)の発行、精神保健福祉に関する調査・研究、ACTやIPSといった新しいリハビリテーションプログラムの普及活動などを行っています。

英語名=COmmunity Mental Health & welfare Bonding Organizationの頭文字をとって、COMHBO(コンボ)と称します。

### ■ 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、創業130年以上の歴史がある、米国インディアナ州に本社を置く製薬会社、イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。統合失調症、注意欠陥多動性障害(ADHD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、尿路上皮がん、悪性胸膜中皮腫)、骨粗鬆症、糖尿病、成長障害をはじめとする、内分泌・代謝・骨領域、中枢神経領域、がん領域における治療法を提供しています。医薬品と情報の提供を通じて、世界の最も急を要する医学的ニーズへの「こたえ」を提供しています。

日本イーライリリーでは、精神障害者、特に統合失調症患者さんの活動を支援するために、2004年より「精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」に協賛しています。